

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3201742号
(U3201742)

(45) 発行日 平成27年12月24日 (2015. 12. 24)

(24) 登録日 平成27年12月2日 (2015. 12. 2)

(51) Int. Cl.

A 4 1 D 25/02 (2006. 01)

F 1

A 4 1 D 25/02

F

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2015-5186 (U2015-5186)
(22) 出願日 平成27年10月14日 (2015. 10. 14)(73) 実用新案権者 591073773
鈴木 義男
山形県鶴岡市美原町2の2 1
(74) 代理人 100065053
弁理士 新関 和郎
(72) 考案者 鈴木 義男
山形県鶴岡市美原町2の2 1

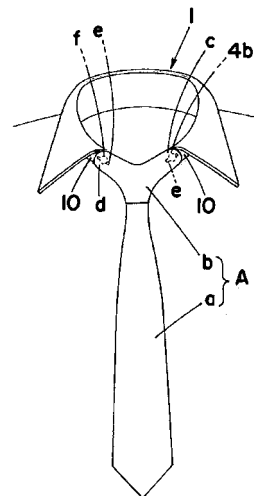
(54) 【考案の名称】 襟飾りの装着手段

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 襟飾りの着装を、スナップボタン雄型とスナップボタン雌型とからなるスナップボタンを利用して、簡略に行えるようにする襟飾りの装着手段を提供する。

【解決手段】 襟飾り A の飾り部 b にスナップボタン雄型 4 b を付設し、スナップボタン雌型を、それに、係合ボタン f を重合させて縫い合わせ、その係合ボタン f のシャツ 1 に対する係着により止着し、スナップボタン雌型と襟飾り A の飾り部 b の張出部 c に付設のスナップボタン雄型 4 b との嵌合により、着装する。

【選択図】 図 7



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

開襟の状態としたシャツ（１）の胸部の前面に位置する主体部（ａ）と、その主体部（ａ）の上方に接続して同上状態のシャツ（１）の襟元部の前面に位置する飾り部（ｂ）と、その飾り部（ｂ）の左右の肩部からそれぞれ外側に張り出す左右の張出部（ｃ）・（ｄ）と、を備え、その左右の張出部（ｃ）・（ｄ）のうちの、一方の張出部（ｃ）には、シャツ（１）の第１ボタンホール（３）から外した第１ボタン（２）に対し嵌合し合うボタンホール（ｅ）を付設し、他方の張出部（ｄ）には、シャツ（１）の外した第１ボタンホール（３）に対し係合し合う係合ボタン（５）を付設しておく襟飾り（Ａ）において、前記第１ボタン（２）と略同径のスナップボタン雌型（４ａ）とこれに装脱自在に嵌り合うスナップボタン雄型（４ｂ）とからなるスナップボタン（４）を別に用意し、そのスナップボタン（４）のスナップボタン雄型（４ｂ）は、シャツ（１）の外した第１ボタンホール（３）と対向する一方の張出部（ｃ）の裏面側に取り付け、スナップボタン雌型（４ａ）は、シャツ（１）の外した第１ボタンホール（３）に対して装脱自在に嵌り合う係合ボタン（ｆ）と重ね合わせて縫い糸（６）により縫い合わせておいて、その係合ボタン（ｆ）の前記第１ボタンホール（３）に対して嵌合せしめることにより係合ボタン（ｆ）をシャツ（１）の第１ボタンホール（３）の外側位置に付設せしめることを特徴とする襟飾りの装着手段。

【請求項 2】

シャツ（１）の第１ボタン（２）をシャツ（１）から取り除いて、スナップボタンの雌型（４ａ）を付け替え取り付けおき、襟飾り（Ａ）の左右の張出部（ｃ）・（ｄ）のうちの、シャツ（１）の外した第１ボタン（２）に対し重合する他方の張出部（ｃ）の裏面側には、前記スナップボタン雌型（４ａ）に対し装脱自在に嵌り合うスナップボタン雄型（４ｂ）を付設しておくことを特徴とする襟飾りの装着手段。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本考案は、洋服の襟元に着装するネクタイ・ブローチ等の襟飾りのうちで、着装したシャツの襟元部の第１ボタンを第１ボタンホールから外して、そのシャツの襟元部を開襟の状態としたところに、外したシャツの第１ボタンと第１ボタンホールを利用して装着するようにした形態の襟飾りにおける襟飾りの装着手段についての改良に関する。

【背景技術】

【０００２】

洋服の襟元に着装するネクタイ・ブローチ等の襟飾りのうちで、着装したシャツの襟元部の第１ボタンを第１ボタンホールから外して、シャツを開襟の状態としたところに、その外した第１ボタンと第１ボタンホールとを、装着手段に利用して装着するようにした形態の襟飾りは、実用新案登録第３１９１０６０号公報、同第３１９１０６１号公報にあるように、本願の出願人が既に開発して公知のものとなっている。

【０００３】

この形態の襟飾りは、図により具体的に説明すれば、まず、図１にあるよう着装したシャツ１は、その胸側の合わせ部を閉じ合わせているボタンのうちの襟元部に位置する第１ボタン２を、第１ボタンホール３から外して、図２に示している如く、襟元部がＶ字形の開放部Ｙを形成して開襟した状態としておく。

【０００４】

また、この開襟とした状態のシャツ１の襟元部に対して着装する襟飾りＡは、図３及び図４にあるよう通常のネクタイ生地を用いて、開襟したシャツ１の前記襟元部に形成される開放部Ｙより下方における胸側の合わせ部の前面に位置して垂れ下がるようになる襟飾り主体部ａを形成する。

【０００５】

この襟飾りＡ主体部ａの上端部の上方には、前記開放部Ｙの前面を覆い込むと共に、結

び目状の飾りを構成する飾り部 b を、前記襟飾り主体部 a を形成しているネクタイ生地と、ともぎれ、または適宜の生地をもって形成し、この飾り部 b の下端側を前記主体部 a の上端側に接続連結させて、襟飾り A を構成するようにするが、この飾り部 b には、その左右の肩部に、それぞれ、外側に向けて角状に張り出す張出部 c・d を形成しておき、襟飾り A を、図 4 に示す如く開襟の状態としたシャツ 1 の襟元部に着装すべく当てがったときに、この角状に張り出す左右の張出部 c・d が、それぞれシャツ 1 の襟元部の立ち代 10 の外面に当接して、その立ち代 10 の端部に装設せる第 1 ボタン 2 及び第 1 ボタンホール 3 の外面にそれぞれ被さるようにしておく。

【0006】

そして、この左右の張出部 c・d のうちの、前述した外した第 1 ボタン 2 に対し重合していく側の張出部 c には、その第 1 ボタン 2 に対し嵌り合うボタンホール e を形設し、第 1 ボタンホール 3 に対し重合していく側の張出部 d の裏面側には、その第 1 ボタンホール 3 に対して嵌り合う係合ボタン 5 を取り付けておき、これにより、一方の張出部 c に設けたボタンホール e を、外したシャツ 1 の第 1 ボタン 2 に嵌め込んで係合させ、他方の張出部 d に設けた係合ボタン 5 を、外したシャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 に対し嵌め合わせて係合させることで、襟飾り A の、シャツ 1 の襟元部に対する着装が行われるようにしている。

【0007】

この形態の襟飾り A は、そのシャツ 1 の襟元部に対する着装が、シャツ 1 の襟元部を開襟の状態とすべく外したシャツ 1 の襟元部の第 1 ボタン 2 と第 1 ボタンホール 3 とを、襟飾りを着装のための装着具に利用して行うことから、取付用の紐、係止具などの装着具を付設することなく、シャツ 1 の襟元部に襟飾り A を装着し得るようになるが、着装の際に、襟飾り A の一方の張出部 d に設けた着装用のボタン f を、外したシャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 に嵌め合わせる操作、および襟飾り A の他方の張出部 d に付設せる着装用のボタンホール e を、外したシャツ 1 の第 1 ボタン 2 に嵌め合わせる操作の作業が、張出部 d に設けた着装用の係合ボタン 5 とシャツ 1 に設けた第 1 ボタンホール 3 とを手さぐりでさぐり出しながらいわれることで手間のかかる厄介な作業となる問題がある。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0008】

【特許文献 1】 実用新案登録第 3 1 9 1 0 6 0 号公報

【特許文献 2】 実用新案登録第 3 1 9 1 0 6 1 号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0009】

本考案において解決しようとする課題は、襟飾り A の襟元の飾り部 b の左右の張出部 c・d に付設しておく係合ボタン 5 とボタンホール e を外したシャツ 1 の第 1 ボタン 2 及び第 1 ボタンホール 3 に対して係合せしめる操作が、簡易に、かつ、手早く行えるようにする点にある。

【課題を解決するための手段】

【0010】

本考案は、上述の課題を解決するための手段として、開襟の状態としたシャツ 1 の胸部の前面に位置する主体部 a と、その主体部 a の上方に接続して同上状態のシャツ 1 の襟元部の前面に位置する飾り部 b と、その飾り部 b の左右の肩部からそれぞれ外側に張り出す左右の張出部 c・d と、を備え、その左右の張出部 c・d のうちの、一方の張出部 c には、シャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 から外した第 1 ボタン 2 に対し嵌合し合うボタンホール e を付設し、他方の張出部 d には、シャツ 1 の外した第 1 ボタンホール 3 に対し係合し合う係合ボタン 5 を付設しておく襟飾り A において、図 8 にあるよう前記第 1 ボタン 2 と略同径のスナップボタン雌型 4 a とこれに装脱自在に嵌り合うスナップボタン雄型 4 b とからなるスナップボタン 4 を別に用意し、そのスナップボタン 4 のスナップボタン雄型 4 b

は、シャツ 1 の外した第 1 ボタンホール 3 と対向する一方の張出部 c の裏面側に取り付け、スナップボタン雌型 4 a は、図 9 にあるようシャツ 1 の外した第 1 ボタンホール 3 に対して装脱自在に嵌り合う係合ボタン f と重ね合わせて縫い糸 6 により縫い合わせておいて、その係合ボタン f の前記第 1 ボタンホール 3 に対して嵌合せしめることにより係合ボタン f をシャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 の外面位置に付設せしめることを特徴とする襟飾りの装着手段を提起するものである。

また、これに併せて、シャツ 1 の第 1 ボタン 2 をシャツ 1 から取り除いて、スナップボタンの雌型 4 a を付け替え取り付けおき、襟飾り A の左右の張出部 c・d のうちの、シャツ 1 の外した第 1 ボタン 2 に対し重合する他方の張出部 d の裏面側には、前記スナップボタン雌型 4 a に対し装脱自在に嵌り合うスナップボタン雄型 4 b を付設しておくことを特徴とする襟飾りの装着手段を提起するものである。

10

【考案の効果】

【0011】

本考案による襟飾りの装着手段は、シャツ 1 の襟元を開襟の状態とするために外したシャツ 1 の第 1 ボタン 2 と第 1 ボタンホール 3 を利用して、襟飾り A をシャツ 1 の襟元に装着するとき、用意しておくスナップボタン 4 のスナップボタン雌型 4 a が、それに重ね合わせて縫い合わせた係合ボタン f と、第 1 ボタン 2 から外したシャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 との嵌め合わせにより、その第 1 ボタンホール 3 の外面に付設された状態となるから、これに、襟飾り A の一方の張出部 c の裏面側に付設しておくスナップボタン雄型 4 b を当接せしめて嵌合させれば、襟飾り A の一方の張出部 c の、シャツ 1 の襟元部における立ち代 10 の外面に対する止着が行われ、襟飾りの装着が終了した結果となるので、襟飾り A を装着する操作が、簡易に、かつ、手早く行えるようになる。

20

【0012】

また、シャツ 1 の第 1 ボタン 2 は取り除いて、そのシャツ 1 の第 1 ボタン 2 を取り付けていた位置には、該第 1 ボタン 2 と略同じ大きさのスナップボタン雌型 4 a を替えて付設しておき、第 1 ボタン 2 と対向する襟飾り A の他方の張出部 d には、前記第 1 ボタン 2 に替えて付設せるスナップボタン雌型 4 a に対して装脱自在に嵌り合うスナップボタン雄型 4 b を付設しておくときは、襟飾り A をシャツ 1 に襟元部に装着するとき、襟飾り A の他方の張出部 d を、シャツ 1 の、第 1 ボタン 2 に替えてスナップボタン雌型 4 a が付設されるシャツ 1 の立ち代 10 の外面に重ね合わせて、その他方の張出部 d の裏面側に付設しておくスナップボタン雄型 4 b を、シャツ 1 の第 1 ボタン 2 と付け替えて付設したスナップボタン雌型 4 a に当接させて、嵌合させれば、この他方の張出部 d のシャツ 1 の立ち代 10 に対する係着が完了した結果となるから、襟飾り A を装着するための作業操作が、簡易に、かつ、手早く行えるようになる。

30

【0013】

また、一方の張出部 c の裏面側に付設するスナップボタン雄型 4 b を、その一方の張出部 c の裏生地が付設し、他方の張出部 d に設けるボタンホール e を、その他方の張出部 d の裏生地成形したときは、スナップボタン雄型 4 b とボタンホール e とが、襟飾り A の飾り部 b で隠されて、飾り部 b の外面側を、きれいなものとする。

【図面の簡単な説明】

40

【0014】

【図 1】シャツの襟元部の正面図である。

【図 2】同上シャツの第 1 ボタンと第 1 ボタンホールとの嵌め合いを外して、開襟の状態としたシャツの襟元部の正面図である。

【図 3】同上状態のシャツの襟元部に、外した第 1 ボタンと第 1 ボタンホールとを利用して装着する形態の襟飾りの正面図である。

【図 4】同上形態の襟飾りを、同上状態のシャツの襟元部に装着した状態の正面図である。

【図 5】本考案手段を実施せる襟飾りの正面図である。

【図 6】同上襟飾りの裏面側から見た背面図である。

50

【図 7】同上襟飾りをシャツの襟元部に装着した状態時の正面図である。

【図 8】同上襟飾りに付設するスナップボタンの斜視図である。

【図 9】同上スナップボタンのスナップボタン雌型と係合ボタンとを縫い糸により重合した状態に閉じ合わせて連係させる作業の説明図である。

【図 10】同上スナップボタンのスナップボタン雌型と係合ボタンとを縫い糸により閉じ合わせた状態の側面視における説明図である。

【図 11】同上スナップボタンのスナップボタン雌型を、シャツの外した第 1 ボタンホールに対して取り付けセットする操作作業の説明図である。

【図 12】同上スナップボタンのスナップボタン雄型を、襟飾りの一方の張出部の裏面側に取り付けセットした状態を示す襟飾りの背面図である。

10

【図 13】襟飾りの飾り部の内部に装入する骨格の正面図である。

【図 14】本考案手段の第 2 の実施例におけるシャツの襟元部の正面図である。

【図 15】同上の第 2 の実施例における襟飾りの正面図である。

【図 16】同上実施例の襟飾りの、裏面から見た斜視図である。

【図 17】本考案手段を実施せる襟飾りを形成するネクタイ生地 of の型どり截断した状態の平面図である。

【考案を実施するための形態】

【0015】

次に、本考案の実施の態様を、実施例につき図面に従い詳述する。

【実施例 1】

20

【0016】

図 5 乃至図 13 は、本考案手段の第 1 の実施例を示す。これら図において、1 はシャツ、10 はそのシャツ 1 の襟元部の立ち代、2 はその立ち代 10 の、シャツ 1 の襟元に臨む一方の端部の外面に付設した第 1 ボタン、3 は前記第 1 ボタン 2 と嵌め合わせるよう前記立ち代 10 の他方の端部に付設せる第 1 ボタンホールを示す。また、A は襟飾りの全体、a はその襟飾り A の、着装時にシャツ 1 の胸部の前面に帯状に垂れ下がるようになる主体部、b はその主体部 a の上方に連続して形成され、襟飾り A の着装時に、シャツ 1 の襟元に位置してくる飾り部、c、d は、その飾り部 b の左右の肩部からそれぞれ外側に向け突出するように設けた張出部を示す。

【0017】

30

これら張出部 c・d のうちで、襟飾り A を着装した際の、シャツ 1 の襟元の立ち代 10 の端部に付設せる第 1 ボタン 2 の外面側に被さるようになる他方の張出部 d には、その第 1 ボタン 2 が、シャツ 1 の立ち代 10 の他方の端部に設けた第 1 ボタンホール 3 から外された状態のところに、その第 1 ボタン 2 に対し係脱自在に嵌合するボタンホール e が付設される。

【0018】

該ボタンホール e は、図 16 に示している如く、襟飾り A を形成すべく、適宜のネクタイ生地を截断して、表側生地 A1 と裏側生地 A2 とが連続する形態に形成し、その裏側生地 A2 を表側生地 A1 に重ね合わせて縫い合わせ、襟飾り A を織成するとき、裏側生地 A2 の他方の張出部 d の内面側には、補強用の当て布 7 を装置しておき、この当て布 7 に設ける切欠穴と裏側生地 A2 に設ける切欠穴とにより、該ボタンホール e を構成し、これにより、該ボタンホール e が、他方の張出部 d の裏面側だけに開口した状態に付設されるようにしている。

40

【0019】

張出部 c・d のうちの、襟飾り A を着装したときに、シャツ 1 の襟元の立ち代 10 の、第 1 ボタンホール 3 が形成されている側の外面に対して被さるように重合していく一方の張出部 c には、その裏面側で、シャツ 1 の襟元に設けた第 1 ボタンホール 3 と対向する部位には、図 6 にあるようスナップボタン 4 のスナップボタン雄型 4b が付設される。このスナップボタン雄型 4b は、図 8 に示している如く、スナップボタン雌型 4a とスナップボタン雄型 4b との組み合わせで構成される通常のスナップボタン 4 の雄型であり、そ

50

れの大きさが、シャツ 1 の襟元に付設される第 1 ボタン 2 と略同じに形成してある。そして、このスナップボタン雄型 4 b は、前述の他方の張出部 d にボタンホール e を形設する場合と同様に、該張出部 c の内部に、補強用の当て布 7 を装置しておいて、この当て布 7 に対し縫い糸により縫い付けることで、該張出部 c の裏面側に取り付けてある。

【0020】

4 a は、上記スナップボタン雄型 4 b を嵌め合わせることで、襟飾り A の一方の張出部 c を、シャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 の外面側に対し止着せしめるためのスナップボタン雄型で、前述した如く、スナップボタン雄型 4 b と組み合わせることで構成されるスナップボタン 4 のスナップボタン雌型 4 a である。そして、このスナップボタン雌型 4 a は、その大きさを、シャツ 1 に付設する第 1 ボタン 2 と略同径のものに形成したものとす
10
が、その背面側に、第 1 ボタン 2 と略同径に形成した係合ボタン f を重ね合わせ、図 9 にあるように、縫い糸 6 によりこの係合ボタン f とスナップボタン雌型 4 a とを閉じ合わせて、二枚重ねの状態としておく。そして、このスナップボタン雌型 4 a は、襟飾り A を装着するときに、シャツ 1 の、第 1 ボタン 2 から外されている第 1 ボタンホール 3 に対し、該スナップボタン雌型 4 a に閉じ合わせてある係合ボタン f を、図 11 にて説明している如く、嵌め込んで係止することで、その係合ボタン f に縫い糸で連結支持された状態となって、第 1 ボタンホール 3 の外面側の位置に付設された状態となるようにしてある。

【0021】

このことから、このスナップボタン雌型 4 a は、襟飾り A の着装を行わないときは、襟飾り A の他方の張出部 d に付設しておくスナップボタン雄型 4 b に嵌め合わせておくなど
20
により、着装前の襟飾り A に保持せしめておいて、襟飾り A を装着するときに、その張出部 d に付設せるスナップボタン雄型 4 b から外して襟飾り A から取り外し、この外したスナップボタン雌型 4 a に一体的に閉じ合わせてある係合ボタン f を第 1 ボタンホール 3 に対して嵌め合わせることに
30
により、シャツ 1 の第 1 ボタンホール 3 の外面側の所定位置に組み付け付設した状態となって、このスナップボタン雌型 4 a に対する他方の張出部 d に付設せるスナップボタン雄型 4 b の嵌め合わせで、他方の張出部 d のシャツ 1 の襟元に対する止着が行えるようになる。

【0022】

また、図 13 は、襟飾り A の飾り部 b の形態を前後方向に膨らみのある形状に成形するために、飾り部 b の内部に組み込む骨格 8 を示す。この骨格 8 は、樹脂材、または金属線材で組み立て成形したもので、襟飾り A を截断したネクタイ生地を縫い合わせて組み立て形成するときに、襟飾り A の飾り部 b 内に組み込んでおくことで、飾り部 b を厚さ方向に膨らみのある形状に形成するようにしてある。

【実施例 2】

【0023】

次に、図 14 及び図 15 は、本考案手段の第 2 の実施例を示している。この第 2 の実施例の手段は、襟飾り A の他方の張出部 d とシャツ 1 の第 1 ボタン 2 を設けた立ち代 10 との係合止着を、スナップボタン雌型 4 a とスナップボタン雄型 4 b とからなるスナップボタン 4 を用いて行うようにした手段である。

【0024】

この例においては、襟飾り A の他方の張出部 d の裏面側で、シャツ 1 の第 1 ボタン 2 に対向する部位には、スナップボタン雄型 4 b を縫い糸により止着するが、このスナップボタン雄型 4 b と嵌り合うスナップボタン雌型 4 a は、図 14 で示しているようシャツ 1 の第 1 ボタン 2 をシャツ 1 から取り外して、その取り外した第 1 ボタン 2 が取り付けであった位置に、その第 1 ボタン 2 に替えて、該スナップボタン雌型 4 a を取り付け止着するようにしてある。

【0025】

この手段は、シャツ 1 の第 1 ボタン 2 をシャツ 1 から取り外して、そこに、スナップボタン雌型 4 a を取り付けることから、シャツ 1 は、開襟した状態でしか着られないようになるが、襟飾り A の装着が襟飾り A の張出部 d に付設せるスナップボタン雄型 4 b とシャ
40
50

ツ 1 の立ち代 10 に付設せるスナップボタン雌型 4 a と嵌め合わせる簡単な操作で行えるようになる。

【符号の説明】

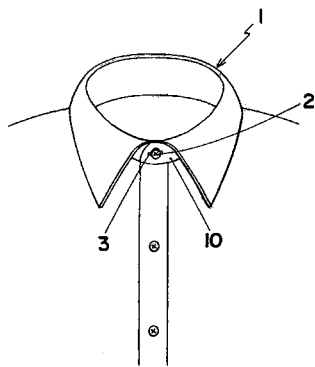
【 0 0 2 6 】

- A 襟飾り
- A 1 表側生地
- A 2 裏側生地
- Y 開放部
- a 主体部
- b 飾り部
- c・d 張出部
- e ボタンホール
- f 係合ボタン
- 1 シャツ
- 2 第 1 ボタン
- 3 第 1 ボタンホール
- 4 スナップボタン
- 4 a スナップボタン雌型
- 4 b スナップボタン雄型
- 5 係合ボタン
- 6 縫い糸
- 7 当て布
- 8 骨格
- 10 立ち代

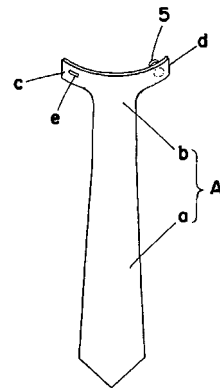
10

20

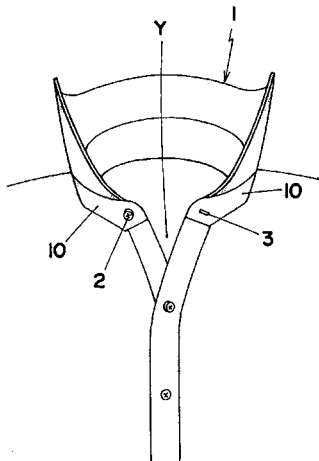
【図 1】



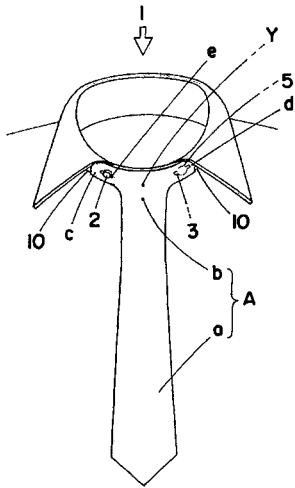
【図 3】



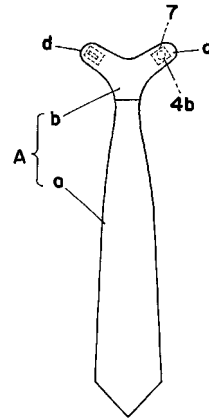
【図 2】



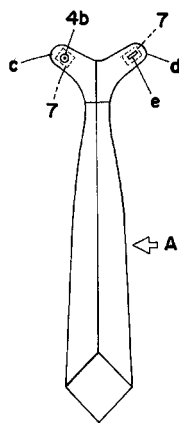
【図 4】



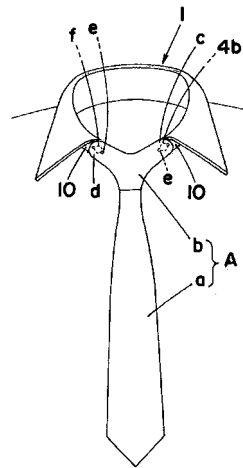
【図 5】



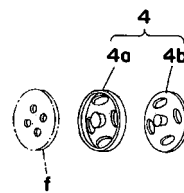
【図 6】



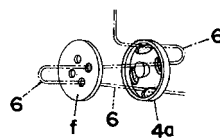
【図 7】



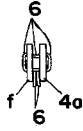
【図 8】



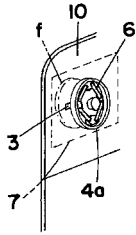
【図 9】



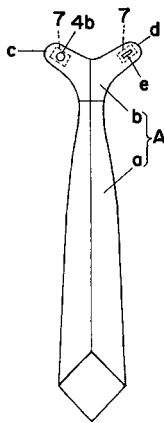
【図 10】



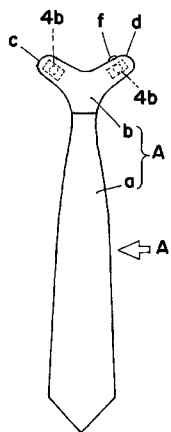
【図 11】



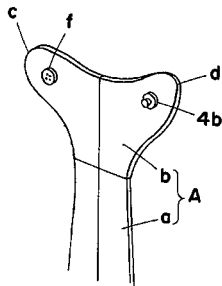
【図 12】



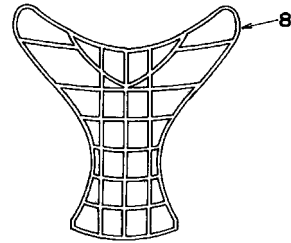
【図 15】



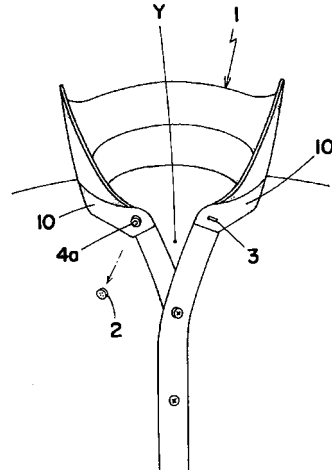
【図 16】



【図 13】



【図 14】



【図 17】

